

## 設定マニュアル 「KiPro 」

※本、マニュアルは接続確認を行い確認した内容です。  
対象機器のバージョン等で相違がある事がありますので、  
参考資料として参照して下さい。

本マニュアルは、KiPro に接続する為の設定及び接続について記載します。

MDC Ver S0100-7E 以降

KiPro Ver 5.0 以降

MDC-70/MDC-74 で操作及び一部機能が異なるのでご注意ください。

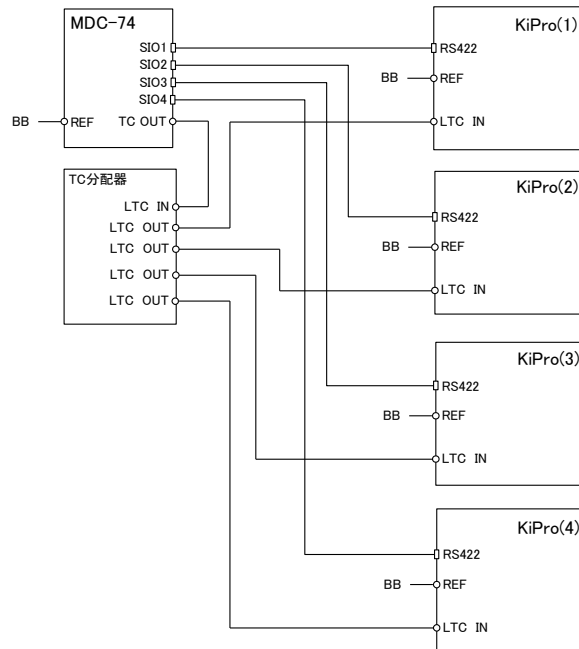
MDC-70	MDC-74
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JOG/SHUTTLE 搭載</li> <li>※VTR と動作が異なります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TC Reader/Generator 搭載</li> <li>・ カスタマイズ可能な SW 機能</li> </ul>
<p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CUE UP のリトライ機能設定</li> <li>・ パラ制御の位置合わせ CUE UP 設定</li> <li>・ 簡易同時再生機能</li> </ul> <p><b>【推奨の使用方法】</b></p> <p>再生を繰り返す使用方法</p>	<p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収録 TC の管理</li> <li>・ 収録開始時の REC タイミング調整</li> <li>・ CUE UP のリトライ機能設定</li> <li>・ パラ制御の位置合わせ CUE UP 設定</li> <li>・ 簡易同時再生機能</li> </ul> <p><b>【推奨の使用方法】</b></p> <p>収録と再生を繰り返す使用方法</p>

## 内容

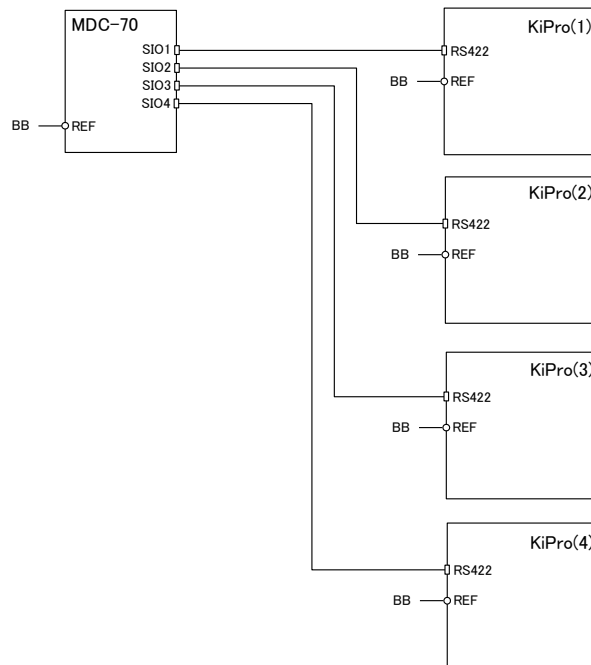
1. 接続 .....	4
1.1 MDC-74 を使用して KiPro4 台の同時収録と再生を行う時 .....	4
1.2 MDC-70 を使用して KiPro4 台の同時再生制御を行う時 .....	4
2. KiPro の設定と特徴 .....	5
3. MDC-74 .....	6
3.1 MDC-74 の設定 .....	6
3.2 MDC-74 の操作概要 .....	9
4. MDC-70 .....	11
4.1 MDC-70 の設定 .....	11
4.2 MDC-70 の操作概要 .....	12

## 1. 接続

### 1.1 MDC-74 を使用して KiPro4台の同時収録と再生を行う時



### 1.2 MDC-70 を使用して KiPro4台の同時再生制御を行う時



## 2. KiPro の設定と特徴

制御系のみ記載します。記載は Factory Default からの変更箇所です。

MENU	設定	備考
TC In	LTC	MDC-74 使用時
RemoteControl	RS422Only	
Genlock	Refin	
TC Type	DF	

### 【特徴】

#### ◆KiPro のクリップの取扱いについて

KiPro は収録を行うとクリップが出来ます。

クリップとしては 2 4 時間タイムコード内であればどこでも移動できますので  
ファイル頭・ファイル END の概念が無いのでご注意ください。

MDC-74 で搭載している TC Generator を使用して収録時の TC の管理を行い  
操作上はファイル頭・ファイル END がある様な制御を行っています。

MDC-70 では TC Generator は搭載していないので収録時の TC の管理は行えませんの  
で再生をメインでご使用頂く様に推奨しています。

#### ◆KiPro のクリップの移動について

NEXT/PREV でクリップの移動は可能ですが LOOP 移動となります。

クリップ TOP の概念は無いのでご注意ください。

### 3. MDC-74

MDC-74 使用時（収録と再生を繰り返す使用方法）の設定と操作概要を記載します。

#### 3.1 MDC-74 の設定

##### ◆コレクションメニュー設定

制御対象機器に最適な設定を行います

MENU	MENU 名	設定値
17000	\$CustomPtn	0001
17301	\$Port1-Protocol	40)KiPro-a
17302	\$Port2-Protocol	40)KiPro-a
17303	\$Port3-Protocol	40)KiPro-a
17304	\$Port4-Protocol	40)KiPro-a

##### ◆CUE 登録エリアの調整

同時収録時に再生TCを PORT1 のTCを使用し CUE UP を行う設定が可能です

MENU	MENU 名	
27601	Port1-ListBank	PORT1 選択時でのファイルリストの登録エリアの指定。 <u>Bank-A</u>
27602	Port2-ListBank	PORT2 同上 <u>Bank-A</u>
27603	Port3-ListBank	PORT3 同上 <u>Bank-A</u>
27604	Port4-ListBank	PORT4 同上 <u>Bank-A</u>

##### ◆調整メニュー

同時収録時に収録TCの調整時は下記の設定をSIO毎に調整して下さい。

MENU	MENU 名	出荷時設定値(SIO1~4)
30701	NomalRecStartDly	0 frame 推奨設定値 30frame

◆collection 設定の\$CustomPtn 0001 で自動設定される MENU 項目

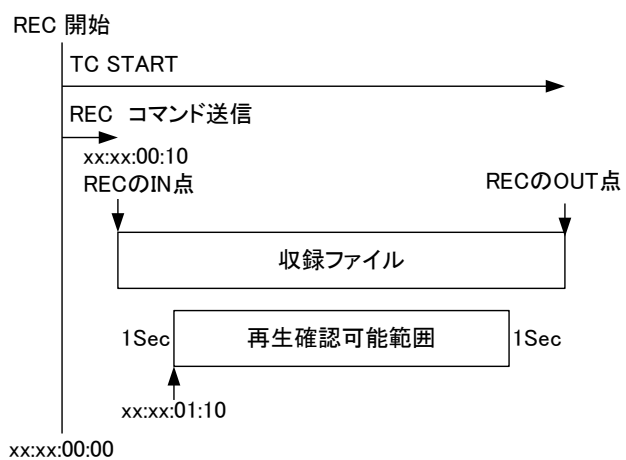
下記のメニューを変更して使用する時はコレクション設定で\$CustomPth を 0000 /\$Port1-Protocol~\$Port4-Protocol を Free に変更してから変更を行って下さい。

項目	設定	KiPro 設定
27811 \$ContKeyAsb-1	SW1の機能を指定します。	Prev
27812 \$ContKeyAsb-2	SW2の機能を指定します。	Next
30702 AtRecInTc-RecChkWt	AutoStopSel 機能有効時に REC 開始直後の TC が不安定な時に調整する為のパラメータ	0Frame
30800 StopCommand	停止制御に使用するコマンドの指定	Var-Zero
30807 AutoStopSel	AutoStopSel 機能の選択です。 収録のIN点 OUT 点の管理を行う機能です	RecInOut
30808 AutoStopOfs	AutoStopSel 機能有効時に REC 停止時の TC のバラつきを吸収する為のパラメータ	30 frame
30809 DialSpdIntvl	ダイヤル操作でコマンドを送信する間隔調整	0
3080A DialJogCtrlMode	ダイヤル操作で使用するコマンドの選択	CueupCmd
3090C Cue:AtRecInOut-JmpOfs	RecIn/Out TC 位置に CueUp する機能のオフセット	0 Frame
3090D Cue:CueupRetryCnt	CUE UP 時のリトライ回数指定	3
3090E Cue:CueupRetryWt	CUE UP 時のリトライ間隔	90
30D17 V:FastCueupMod	VTR プロトコルで追っかけ再生の有効無効の切替です	Enable
30D19 V:PbEeSndDis	EE 操作時のコマンド指定	Stopx2
31005 Dsk:JumpCmdTyp	NEXT/PREV 動作時に使用するコマンド指定	KiPro

68900 \$LtcOut-Default	電源投入時の TC OUT の出力指定 電源 OFF の時の TC を出力します。	X-Still
68903 TcgTrg-RecSwOpr	REC ボタンを押した時に TCG のスタート 指定	Enable

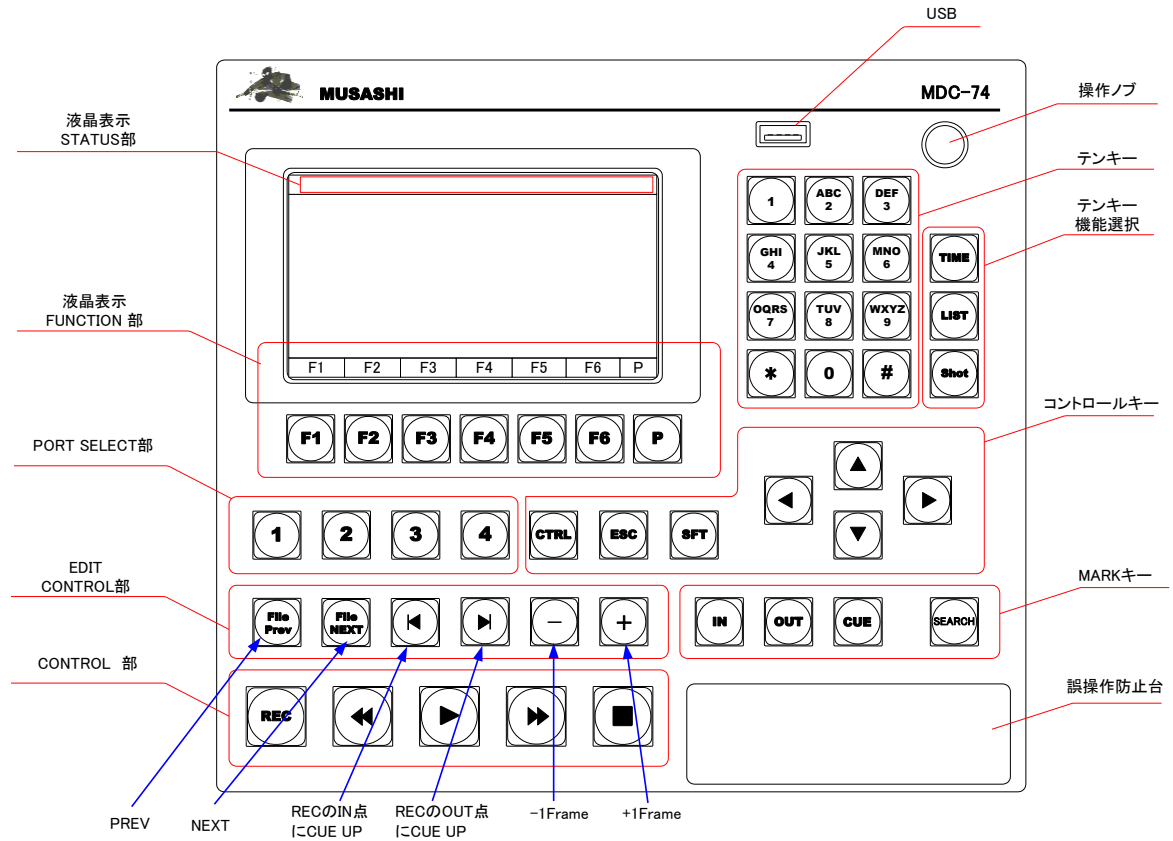
【収録ファイル】

収録素材と再生可能範囲で違いがあるので注意して下さい。





## 3.2 MDC-74 の操作概要



### 1) 使用ポート(台数)の選択

**SFT+PORT 選択ボタン**で制御するポートを点灯させます。

### 2) 収録の準備

**REC ボタン**を押すと収録の準備を行い画像は EE 状態になります。

注意)再生と収録の切り替え時は5秒程度お待ちください。

### 3) 収録

**REC ボタン+PLAY ボタン**で収録を開始します。

注意)REC 中は REC 停止以外の操作は禁止をかけています。

※収録の開始時には、誤操作防止のため本機の TC GEN の TC と、RS422 から取得した TC が一致している事を確認して収録を行います。

#### 4) CUE 操作

CUE 操作を行うと、MDC-74 の画面が CUE 画面に移動します。

※CUE 点はポート毎に登録しています。

#### 5) 収録の停止

**REC ボタン+STOP ボタン**で収録を停止します。

※REC 停止時は EE 状態です。

#### 6) 収録の範囲内で再生が可能です。

注意) 収録と再生の切り替え時は5秒程度お待ちください。

注意) 再生操作中に TC にズレが生じた場合は、**STOP ボタンを長押し**して下さい。

点減しているポートの TC に CUE UP を行います。

※収録直後のファイルに関しては、収録の開始終了点をコントローラで監視して停止する制御を行っています。

※CUE UP のリトライ処理を入れてあります。

#### 7) 以前に収録したファイルの確認

収録後の IN/OUT の管理は収録直後ファイルのみとなります。

以前に収録を行ったファイルに関しては、NEXT と PREV で移動可能ですが、収録後の IN/OUT の管理を行っている関係で REW 動作は行えませんので注意して下さい。

映像と TC が一致すれば再生及び CUE UP 動作は可能です。

#### 8) ファイル移動操作

PREV ボタン、NEXT ボタンでファイル移動が可能です。

現在開かれているファイルから、ひとつ前、ひとつ後のファイルの先頭へ移動します。

最後のファイルの NEXT は先頭のファイルへ、先頭のファイルの PREV は最後のファイルへ移動が可能です。

#### 8) 簡易同時再生機能

操作 : SFT+PLAY

動作 : 点減ポートの TC に CUE UP → Deterministic Playback コマンド→1S Wait→Play

## 4. MDC-70

MDC-70 使用時（再生を繰り返す使用方法）の設定と操作の概要を記載します。

### 4.1 MDC-70 の設定

#### ◆基本設定

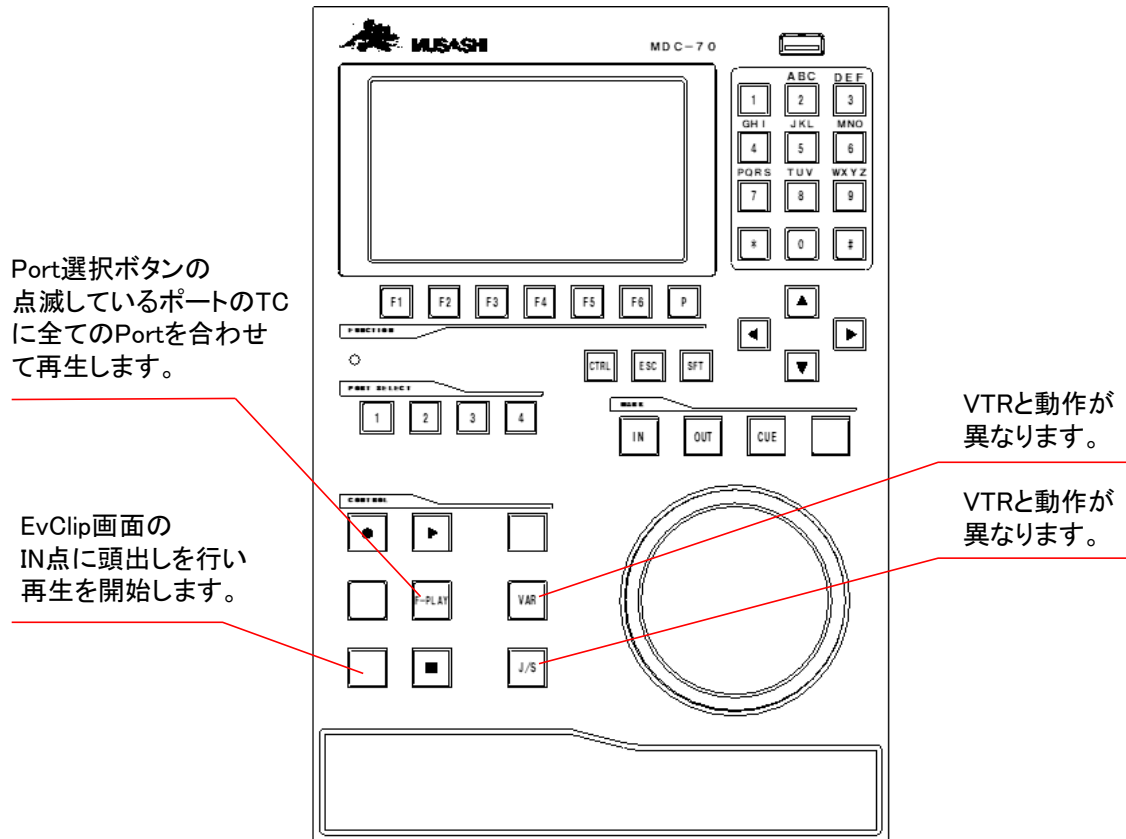
制御対象機器に最適な設定を行います

MENU	MENU 名	設定値
17301	\$Port1-Protocol	40)KiPro-a
17302	\$Port2-Protocol	40)KiPro-a
17303	\$Port3-Protocol	40)KiPro-a
17304	\$Port4-Protocol	40)KiPro-a

#### ◆動作指定設定

項目	設定	設定
27813 \$ContKeyAsn-3.	ブランクキー3の動作指定 頭出しを行い、同時再生をします	32)EventClipPlay
28205 StopSwLgOprMod	STOP ボタンを長押しすることで、 マスターポートの TC で整列(CUEUP)します	MasterCueup
29101 DvSts:LwrTcTyp	点滅ポートの TC の相対値を表示します	Diff(MasterDev)
29102 DvSts:FplayCont	DeviceDtatus 画面の F-PLAY 操作を同時再生とします。同画面での F-PLAY 操作は現在位置からの同時再生となります。	SyncPlay
3090E Cue:CueupRetryWt SIO1~4を設定	CUE UP 時のリトライ間隔	90

## 4.2 MDC-70 の操作概要



### 1) 使用ポート(台数)の選択

SFT+PORT 選択ボタンで制御するポートを点灯させます。

### 2) イベントクリップ画面に移動

P2 ページ F3 ボタンでイベントクリップ画面に移動して  
IN 点/OUT 点/LOOP 指定の登録を行います。

### 3) 再生

下白ボタンで、IN 点に頭出しを行い再生します。  
※LOOP 再生は頭出し時の映像が少し停止します。

注意) MDC-70 では制御的にファイルの管理は行えないので、ファイルの選択は KiPro 本体操作で行って下さい。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---